

湯島聖堂漢文檢定

寺子屋編 論語

上級





曾子曰、吾日三省吾身。為人謀而不忠乎。

与二朋友交而不信乎。伝不習乎。(学而篇)

曾子曰わく、

吾日に吾が身を三省す。

人の為に謀りて忠ならざるか。

朋友と交わりて信ならざるか。習わざるを伝うるか

### 文章の意味

曾子がいきました。「私は、一日に何度も何度も反省します。人のために相談相手になって十分にまごころをつくすことをしなかったのではないか。友だちとつきあつてうそをつくようなことをしなかったか。十分理解していないことを教えはしなかったか。」

### 語句の解説

- 「曾子」は孔子の弟子。姓は曾、名は参。
- 「三省」は、「何度も何度も反省する」ことをいう。
- 「謀」は、「はかりて」と読み、「あれこれ相談相手になる」の意味。
- 「忠」は、「まごころ」のことをいう。
- 「朋友」は「友だち」のことをいう。
- 「信」は「信頼される」ことをいう。
- 「習」は「十分理解している」ことをいう。

子曰、父在、觀其志、父没、觀其行。

三年無改於父之道、可謂孝矣。(学而篇)

子曰わく、

父在せば其の志を觀、父没すれば其の行いを觀る。

三年父の道を改むること無きは、孝と謂うべし。

### 文章の意味

孔先生がおつしやいました。「父が生きているときは、父の思いを理解し、父が死んだ後は、生きていたときの父のやり方をよく見る。父が死んでから三年間、父のやり方を変えないのは、親孝行だと言えるよ。」

### 語句の解説

- 「父在」は、「ちちいませば」と読み、「父が生きているとき」の意味。
- 「父没」は、「ちちぼつすれば」と読み、「父が死んだ後」の意味。
- 「父之道」は、「ちちのみち」と読み、「父が元気で生きているとき行つたやり方」の意味。
- 「三年」は、ここでは「むかしの中国では、子どもが生まれて三年間は、親のもとで大切に育てられたことから、親が死んだとき、三年間は、親の死を悲しみ、親のことを思い返すことにした期間」のことをいう。

23

子曰、今之孝者、是謂不能養<sup>一</sup>。

至於犬馬、皆能有養。不敬、何以別乎。(為政篇)

子曰わく、今の孝は、是れ能く養うを謂う。

犬馬に至るまで、皆能く養うこと有り。

敬せずんば何を以て別たんや。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「近ごろの親孝行とは、親のお世話をするを言っているが、(人間は)犬や馬でも世話をしている。親をうやまい、真心をもって親のお世話をすることをしなければ、犬や馬の世話をすると、どう區別したらよいのだろうか。」

\*「親孝行」とは、「うやまい愛する心をもって親のお世話をする」ことを言います。

語句の解説

○「今」は、「孔子の時代」のことをいう。

○「養」は、「やしなう」と読み、「世話をする」の意味。

○「敬」は、「ただ世話するだけでなく、うやまい愛する心をもって、親のお世話をする」ことをいう。

○「すんば」は、「しなかつたら」の意味。

24

子曰、見賢思<sup>レ</sup>齊焉、見不賢<sup>一</sup>而内自省也。

(里仁篇)

子曰わく、

賢を見ては齊しからんことを思い、不賢を見ては内に自ら省みるなり。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「賢い人を見たら、自分もあのようになろうと思いなさい。賢くない人を見たら自分であのようにしてはならないと思いなさい。」

語句の解説

○「賢」は、「すぐれた人」の意味。

○「自省」は、「みずから反省する」ことをいう。

子曰、父母之年、不可不知也。一則以喜、一則

以懼。(里仁篇)

子曰わく、父母の年は、知らざるべからざるなり。  
一は則ち以て喜び、一は則ち以て懼る。

### 文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「お父さんとお母さんの年齢は、知っていないとはいけないよ。お父さん、お母さんの年を覚えておいて、一つにはお父さんとお母さんが元気にしていることを子どもとして喜び、一つには、一日一日お父さんとお母さんが年をとって(死に近づいて)いることを、子どもとして心配するのだよ。」

### 語句の解説

- 「年」は、「年齢」のことをいう。
- 「不可不知也」は、「しらざるべからざるなり」と読み、「知らなくてはいけない」の意味。
- 「喜」は、「よろこぶ」と読み、「両親が元気でいることを喜ぶ」の意味。
- 「懼」は、「おそる」と読み、「両親が死に近づくことを心配する」の意味。

子路曰、願聞子之志。

子曰、老者安之、朋友信之、少者懷之。(公冶長篇)

子路曰わく、願わくは子の志を聞かん。  
子曰わく、  
老者は之を安んじ、朋友は之を信じ、少者は之を懐けん。

### 文章の意味

子路が言いました。

「どうか先生の生き方の理想をお聞かせください。」  
孔先生がおっしゃいました。  
「年をとった人には安心されるように、友だちには信じられるように、若い人にはしたわれるようになりたいものだ。」

### 語句の解説

- 「子路」は、「しろ」と読み、孔子の弟子。姓は仲、名は由、字は子路。
- 「願」は、「ねがわくは」と読み、「どうか……してください」の意味。
- 「志」は、「こころざし」と読み、「生き方としての理想」の意味。
- 「老者」は、「自分より先輩の年をとった人」の意味。
- 「朋友」は、「自分の友だち」の意味。
- 「少者」は、「少」は「若い」の意味で、「自分より若い人」の意味。
- 「懷」は、「なつく」と読み、「したう」の意味。

子謂<sup>ヒテ</sup>子貢<sup>ニ</sup>曰<sup>ハク</sup>、女<sup>ト</sup>与<sup>レ</sup>回也<sup>ト</sup>孰<sup>カ</sup>愈<sup>レル</sup>。对<sup>ヘテ</sup>曰<sup>ハク</sup>、賜也<sup>ト</sup>何<sup>ッ</sup>敢<sup>ヘテ</sup>

望<sup>マン</sup>回<sup>ヲ</sup>。

回也<sup>キテ</sup>聞<sup>レ</sup>一<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>知<sup>ル</sup>十<sup>ヲ</sup>。賜也<sup>キテ</sup>聞<sup>レ</sup>一<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>知<sup>ル</sup>二<sup>ヲ</sup>。

子曰<sup>ハク</sup>、弗<sup>ル</sup>如<sup>カ</sup>也<sup>ト</sup>。吾<sup>ト</sup>与<sup>レ</sup>女<sup>ト</sup>弗<sup>ル</sup>如<sup>カ</sup>也<sup>ト</sup>。(公冶長篇)

子<sup>シ</sup> 子貢<sup>シコウ</sup>に謂<sup>イ</sup>いて曰<sup>イ</sup>わく、女<sup>メ</sup>と回<sup>カイ</sup>と孰<sup>ナニ</sup>か愈<sup>マ</sup>れる。

对<sup>コタ</sup>えて曰<sup>イ</sup>わく、賜<sup>シ</sup>や何<sup>ナン</sup>ぞ敢<sup>ア</sup>えて回<sup>カイ</sup>を望<sup>ノゾ</sup>まん。

回<sup>カイ</sup>や一<sup>イチ</sup>を聞<sup>キ</sup>きて以<sup>モ</sup>つて十<sup>ジュウ</sup>を知<sup>シ</sup>る。

賜<sup>シ</sup>や一<sup>イチ</sup>を聞<sup>キ</sup>きて以<sup>モ</sup>つて二<sup>ニ</sup>を知<sup>シ</sup>る。

子曰<sup>シ</sup>わく、如<sup>シ</sup>かざるなり。吾<sup>われ</sup>と女<sup>なんじ</sup>と如<sup>シ</sup>かざるなり。

文章の意味

孔<sup>こう</sup>先生<sup>せんせい</sup>が子<sup>し</sup>貢<sup>こう</sup>に向<sup>む</sup>かっ<sup>て</sup>おっ<sup>し</sup>やいま<sup>し</sup>た。  
「君<sup>きみ</sup>と顔<sup>がん</sup>回<sup>かい</sup>とでは、どちらがすぐれているかね。」子<sup>し</sup>貢<sup>こう</sup>は答<sup>こた</sup>えして言<sup>い</sup>いました。

「私はとても顔<sup>がん</sup>回<sup>かい</sup>にはか<sup>か</sup>ないま<sup>ま</sup>せん。顔<sup>がん</sup>回<sup>かい</sup>は一<sup>いち</sup>を聞<sup>き</sup>けば十<sup>じゅう</sup>がわ<sup>わ</sup>かりま<sup>ま</sup>す。私<sup>わたし</sup>などは一<sup>いち</sup>を聞<sup>き</sup>いて二<sup>に</sup>がわ<sup>わ</sup>かるくら<sup>ら</sup>いで<sup>で</sup>す。」

先生<sup>せんせい</sup>はおっ<sup>し</sup>やいま<sup>し</sup>た。

「そのとおりだ。私<sup>わたし</sup>も君<sup>きみ</sup>も(顔<sup>がん</sup>回<sup>かい</sup>には)とてもか<sup>か</sup>な<sup>な</sup>わ<sup>わ</sup>ないよ。」

語句の解説

○ 「子貢」は孔子の弟子。姓<sup>せい</sup>は端木<sup>たんぼく</sup>、名<sup>な</sup>は賜<sup>し</sup>、字<sup>あざな</sup>は子貢<sup>しこう</sup>。

○ 「回」は、顔<sup>がん</sup>回<sup>かい</sup>のこと。顔<sup>がん</sup>回<sup>かい</sup>は、姓<sup>せい</sup>は顔<sup>がん</sup>、名<sup>な</sup>は回<sup>かい</sup>、字<sup>あざな</sup>は子淵<sup>しえん</sup>。孔子<sup>こうし</sup>が

一番<sup>いちばん</sup>将来<sup>しょうらい</sup>を期<sup>き</sup>待<sup>たい</sup>して<sup>いた</sup>弟子<sup>でし</sup>。

○ 「孰愈」は、「い<sup>い</sup>ずれか<sup>づ</sup>ま<sup>ま</sup>さ<sup>さ</sup>れる」と読<sup>よ</sup>み、「ど<sup>ど</sup>ちらが<sup>ら</sup>す<sup>す</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>れ<sup>れ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>るか」の意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。

○ 「何敢望回」は、「な<sup>な</sup>んぞ<sup>ぞ</sup>あ<sup>あ</sup>え<sup>え</sup>て<sup>て</sup>か<sup>か</sup>い<sup>い</sup>を<sup>を</sup>の<sup>の</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>ま<sup>ま</sup>ん」と読<sup>よ</sup>み、「と<sup>と</sup>て<sup>と</sup>も<sup>も</sup>顔<sup>がん</sup>回<sup>かい</sup>には<sup>は</sup>か<sup>か</sup>な<sup>な</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>せん」の意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。

○ 「吾与女」は、「わ<sup>わ</sup>れ<sup>れ</sup>と<sup>と</sup>な<sup>な</sup>ん<sup>ん</sup>じ<sup>じ</sup>と」と読<sup>よ</sup>み、「私<sup>わたし</sup>も<sup>も</sup>君<sup>きみ</sup>も」の意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。

○ 「弗如也」は、「し<sup>し</sup>か<sup>か</sup>ざ<sup>ざ</sup>る<sup>る</sup>なり」と読<sup>よ</sup>み、「か<sup>か</sup>な<sup>な</sup>わ<sup>わ</sup>な<sup>な</sup>い」の意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>。

哀公問、弟子孰為好學。孔子對曰、有顔回者、

好學、不遷怒、不貳過。(雍也篇)

哀公問う、弟子孰か學を好むと為す。

孔子對えて曰わく、

顔回という者有り、學を好み、怒りを遷さず、過ちを貳ひせず。

### 文章の意味

(魯の君主の) 哀公がおたずねになりました。

「お弟子さんの中で、誰が學問好きですか。」

孔先生はお答えしておっしゃいました。

「顔回という者がおりました。學問好きで、他の人にやつあたりすることなく、過ちを二度とくりかえすこともありませんでした。」

### 語句の解説

○「哀公」は、魯の国の君主。

○「孰」は、「たれか」と読み、「誰」と同じ意味。

○「不遷怒」は、「いかりをうつさず」と読み、「他の人にやつあたりしない」の意味。

○「不貳過」は、「あやまちをふたたびせず」と読み、「過ちを二度とくりかえさない」の意味。「貳」は「二」と同じ。

○「顔回」については、27参照。

子曰、知者樂水、仁者樂山。知者動、仁者靜。

知者樂、仁者壽。(雍也篇)

子曰わく、

知者は水を樂しみ、仁者は山を樂しむ。知者は動き、仁者は静か

なり。知者は樂しみ、仁者は壽し。

### 文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「知者は川が好きで、仁者は山が好きである。つまり、知者は行動力があり、仁者はじっくりと考えることが得意なのだ。だから、知者は人生を樂しみながら過ごし、仁者は長生きをするのだ。」

### 語句の解説

○「知者」は、「ものごとの道理をよくわきまえていて、目先のきく人」の意味。

○「仁者」は、「思いやりのある人」の意味。

○「樂」は、ここでは二種類あり、最初の二つは「このむ」という意味。最後の二つは、「たのしむ」ということ。

○「水」は、川のこと、常に動いていることのとたとえ。

○「山」は、そのまま山のこと、どっしりして動かないことのとたとえ。

○「壽」は、「いのちながし」と読み、「長生き」「長壽」の意味。

30

曾子曰、士不<sub>レ</sub>可以<sub>二</sub>不<sub>二</sub>弘毅<sub>一</sub>。(泰伯篇)

曾子曰わく、

士は以て弘毅ならざるべからず。

文章の意味

曾子が言いました。

「りつばな人は、心が広く意志が強くなければいけない。」

語句の解説

○「曾子」は、21を参照。

○「士」は、「りつばな人」の意味。

○「弘毅」は、「こうき」と読み、「心が広く、意志が強い」の意味。

31

子曰、過而不<sub>レ</sub>改、是謂<sub>レ</sub>過矣。(衛霊公篇)

子曰わく、

過ちて改めざる、是を過ちと謂う。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「まちがいによくあることだが、その( )まちがいを直そうとしないのが、本当のまちがいだね。」

語句の解説

○「過」は、「あやまち」と読み、「まちがい」の意味。

○「謂」は、「いう」と読み、ここでは「言う」の意味。



子曰、知者不惑、仁者不憂、勇者不懼。(子罕篇)

子曰わく、

知者は惑わず、仁者は憂えず、勇者は懼れず。

#### 文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「知者はものの道理がよく分かっているので、迷わないのだ。仁者は自分勝手にしないので、安らかなのだ。勇者は思いきりがいいので、びくびくしないのだ。」

#### 語句の解説

- 「知者」は、「ものごとの道理が分かっている人」の意味。
- 「仁者」は、「思いやりのある人」の意味。
- 「勇者」は、「決断力と行動力のある人」の意味。
- 「惑う」は、「迷ってぐずぐずする」という意味。
- 「憂う」は、「心配する」という意味。
- 「懼る」は、「恐れおののく」という意味。

子曰、才不才、亦各言其子也。(先進篇)

子曰わく、

才も不才も、亦各其の子を言うなり。

#### 文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「自分の子どものできが良かろうが悪かろうが、親にとっては、それぞれ自分の子であって、かわいいことには変わりがないのだよ。」

\*この言葉は、どんな子どもでも、親にとってはかけがえのない宝ものであると言っています。

#### 語句の解説

- 「才不才」は、「さいもふさいも」と読み、「才能があってもなくても」の意味。
- 「各」は、「一字で「おのおの」と読み、「それぞれ」の意味。
- 「其子」は、「そのこ」と読み、ここでは「自分の子ども」のことをいう。

34

子曰、己所不欲、勿施於人。在邦無怨、在家

無怨。(顔淵篇)

子曰わく、

己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ。

邦に在りても怨み無く、家に在りても怨み無し。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「自分がしてほしくないことは、他の人にもしてはならない。そうすれば、社会に出ても人からうらみごとをいわれることはなく、家にいてもだれからもうらみごとはいわれぬ。」

\*この言葉は、自分がしてほしくないことは、他の人にもしてはいけな  
いという、他の人を思いやる心のことを言っています。

語句の解説

○「己所不欲」は、「おのれのほつせざるところ」と読み、「自分がしてほしくないこと」の意味。

○「勿施於人」は、「ひとにほどこすことなかれ」と読み、「他の人にしてはいけない」の意味。

○「在邦」は、「くににある」と読み、「社会に出て活躍する」の意味。

○「怨」は、「うらみ」と読み、「自分が他の人からうらみごとを言われる」の意味。

35

孔子対曰、君君、臣臣、父父、子子。(顔淵篇)

孔子対えて曰わく、

君は君たり、臣は臣たり、父は父たり、子は子たり。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「二国の王は一国の王らしくし、国の王を助ける人は助ける人らしくする。それと同じように、父は父らしくし、子どもは子どもらしくあるべきだ。」

語句の解説

○「対えて」は、「質問に対しておこたえする」ことをいう。ここでは斉の国の景公から、理想的な政治はどういうものかと質問されたことに孔子がこたえている。

○「君」は、「一国の王」のことをいい、「臣」は「王を支える人」のことをいう。

○「父」は、家族を大切に愛する気持ちを持って、家族と接するのが「父らしい」姿。これに対して「子」は、親をうやまい大切にすることが「子どもらしい」姿であるということ。

子貢問曰、有下一言而可以終身行之者乎。

子曰、其恕乎。己所不欲、勿施於人。(衛靈公篇)

子貢問いて曰わく、

一言にして以て終身之を行ふべき者有りや。

子曰わく、其れ恕か。

己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ。

### 文章の意味

子貢が、(孔先生に) おたずねしました。

「一つの言葉で死ぬまでおぼえていて、いつも実行できる言葉がありますか。」

孔先生がおっしゃいました。

「それは『恕(思いやり)』だろうね。自分がしてほしくないことは、他の人にもしてはいけない、ということだね。」

### 語句の解説

○「子貢」は、27を参照。

○「終身」は、「一生を終えるまでの間」の意味。

○「恕」は「じよ」と読み、「思いやり」の意味。他の人の苦しみや悲し

みを自分のことのように考えられることをいう。

○「己所不欲」は「おのれのほつせざるところ」と読み、「自分がしてほしくないこと」の意味。

○「勿施於人」は「ひとにほどこすことなかれ」と読み、「他の人にしてはいけない」の意味。「施す」は、「行ふ」の意味。「勿かれ」は、「……してはいけない」という禁止の言葉。

37

子曰、君子和而不同。小人同而不和。(子路篇)

子曰わく、

君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「君子は、他人とうまく調和するが、他人の意見にそまることがはない。小人は他人のいうことをそのまま聞くだけで、自分の意見はない。」

語句の解説

- 「和す」は、「ことなる意見の中で、仲良くやっていくこと」の意味。
- 「同ず」は、「他の人の意見をそのままきいてしまうこと」の意味。
- 「小人」は、「とるに足りない人。つまらない人」の意味。

38

子曰、君子求諸己、小人求諸人。(衛霊公篇)

子曰わく、

君子は諸を己に求め、小人は諸を人に求む。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「君子はどんなことでも、自分の責任で成しとげるものだ。小人は何でも、人のせいにするものだ。」

語句の解説

- 「求諸己」は、「これをおのれにもとむ」と読み、「自分の責任で成しとげる」ことをいう。
- 「求諸人」は、「これをひとにもとむ」と読み、「どんなことでも他人のせいにする」ことをいう。
- 「小人」は、「とるに足りない人」「つまらない人」の意味。

孔子曰、益者三友、損者三友。友レ直、友レ諒、友

多聞、益矣。友二便辟、友二善柔、友二便佞、損矣。

(季氏篇)

孔子曰わく、

益者三友、損者三友。直を友とし、諒を友とし、多聞を友とするは、

益なり。

便辟を友とし、善柔を友とし、便佞を友とするは、損なり。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「自分のためになる友だちには、三つの種類がある。自分のためにならない友だちにも三つの種類がある。正直な人、誠実な人、何でもよく知っている人は、自分のためになる。正直でない人、誠実でない人、口先のうまい人を友だちにすると、自分のためにならないよ。」

語句の解説

- 「益者」は、「自分のためになる人」の意味。
- 「損者」は、「自分のためにならない人」の意味。

- 「直」は、「正直な人、まじめな人」の意味。
- 「諒」は、「誠実な人」の意味。
- 「多聞」は、「何でもよく知っている人」の意味。
- 「便辟」は、「正直でない人」の意味。
- 「善柔」は、「気に入られようとにこにこしているが、誠実でない人」の意味。
- 「便佞」は、「口先のうまい人」の意味。

子曰、主<sup>ハク</sup>二忠<sup>トシ</sup>信<sup>ヲ</sup>、母<sup>カレ</sup>レ友<sup>トスルコト</sup>二。不<sup>レ</sup>如<sup>レ</sup>己<sup>ニ</sup>者<sup>ヲ</sup>。過<sup>チテハチ</sup>則<sup>レ</sup>勿<sup>カレ</sup>レ憚<sup>ルコト</sup>レ

改<sup>ムルニ</sup>。(子罕篇)

子曰わく、

忠信を主とし、己に如かざる者を友とすること母かれ。

過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ。

文章の意味

孔先生がおっしゃいました。

「まごころをもって人に信頼されることを大切に、自分におよばない人を友だちにしてはいけない。まちがったらすぐ改めるようにしなければならぬ。」

語句の解説

- 「忠信」は、「まごころをもって人に信頼される」の意味。
- 「不如己者」は、「おのれにしかざるもの」と読み、「自分におよばない人」の意味。
- 「母友」は、「ともとすることなかれ」と読み、「友だちにしてはいけない（自分がえらそうになって、わがままになるから）」の意味。
- 「勿憚改」は、「あらたむるにはばかりることなかれ」と読み、「まちがいをしたとき、すぐ改めなさい」の意味。

湯島聖堂漢文検定 テキスト

寺子屋編 論語 上級

編集 湯島聖堂漢文検定編集委員会

発行日 令和六年六月一日 初版発行

刊行 湯島聖堂漢文検定編集委員会

東京都文京区湯島一の四の二五 湯島聖堂構内

制作 朔工房

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は禁じます